立教大學新聞

発行所
豊島区池袋三丁目
立教大学新聞学会
振替口座
東京七〇八五三
電話大塚（86）520～9
内線 37
編集兼印刷発行人
吉川誠一
（毎月廿日発行）

第26回卒業式行はる
シーボルト大使來校

新生活に勇氣をもて
基督の教えを強張

第二十六回卒業式はさる二十三日午後二時から新装なつた小講堂で挙行、来賓として出席した対日理事会議長シーボルト氏はアメリカの大統領の残した言葉を引用して恐怖そのもの以外に恐れるものはなにもないと大要次の通り演説した引続き佐々木総長から大要別項のごとき訓話があり昭和二十五年度卒業生六百名を送る式典を終了卒業生はただちに立教大学同窓会々員として同会寄贈のバッヂをはい用、新生活第一歩を踏み出したこれに先だち二十二日午後二時から本学礼拝堂で卒業礼拝祈とう式が挙行された

諸君のなかには成人としての責任を課せられる新しい人生のスタートを切るには今日が最も楽しい幸先のよい時では決してないと感ずる方もあると思います、しかしながら諸君がここで受けられたキリスト教の教えの最も重要な点は諸君が立派な働きをするために自らの堅いそして冷静な信念をもつて邁進できるということである

諸君がここに獲得される準備ができた市民権というものは恐怖といえども失望も容れる余地のないもの であります、これは幸に私達が生れて来たこの時代は極めて高度な個人の理解と勇気とを要求しているからであります、今日有史以来の容易ならぬちょう戦を受けているのであります、長い間かかつてやつと万人平等の機会を有する世界市民を築き上るところまで来かかつて人類にとつては最も恐るべき力がその行手に投げだされたのであります、各国の国民の政治的成熟に向つての進歩と各国の世界秩序への発進が歴史のなかで、ときおり現われる反動的な力の一つによつて妨害されたのである

理解の向上技術的熟練の発達によつて人々が共通の利益のために相互に自らの考えを伝えることができるようになつてきたときに沈黙のカーテンがすべて国家のまわりに張りめぐらされているのであります、そのカーテンの内では数多くの人々が故意に無知のままにされ、しかもその無知によつて奴隷化されているのであります、しかもあらゆる努力によつて、この影に被はれる領域を拡大しようと企てているのである

私達はかの六月韓国の自由な民に対して行われた掠奪的攻撃が不問に付せられていることはとうてい許し得ないのである

かかる行為を許してしまうということはただ単にかの勇敢な韓国民を短期間のうちに掠奪し奴隷化することにあるばかりでなく、さらに進んであらゆる自由の国民をつぎつぎに終局において掠奪し奴隷化する途を固めることを援助したことになるのであります、威圧と恐怖と国内的陰謀の術のために自由の世界の反感をかつたかの不頼漢の前に一つの時代を無力にしたことになる

侵略者の前に立ちはだかりその侵略者を抑えることこそがたくましく自由な——強力にして自由な諸国定が互に承認し合つて結ばれた人々の冷静な勇気であり、また目的である

今こそ、今日われわれに刃向つているような無責任な権力から人和を完全にしておくことができる手段を検討するには今日こそ適当な時でありましょう

共通の承認によつて確立されあまねく尊敬され支持されている法の支配下にあつてのみ生存し成長する自由を有する社会が存在し得ることは人類の歴史の教えるところであります。この法の支配の下に隣人はその安全を保障されたのであつて、それ故にこそ諸君は何の危険もなく家から家へと歩いて行き、また仕事にいそしむことも出来るのである

近代の諸国家は数年前の隣同志の場合よりももつと時間的にもまた他の多くの点においても相互に接近しているのであります、それすら諸国家の経済も非常に複雑で微妙に調整され近隣諸国民の関係が総合されているので暴虐の脅威の下には生存し得ないのであります。諸君の仕事、諸君の世代の仕事は法の網を拡げ世界各国を被ふのを援助することであり、国際連合がそれである

この集りは平和を維持することを消極的な條件としてでなくそれを改善し発展させるものとして平和維持を目的としてささげられた諸国の自由な結合であります、この団体の成員と目的とがその弱さと不決断とによつて利益を得ようとしている者によつて今や直接挑戦されているということは意味深長である

侵略者が国際連合の高遠な目的を挫折させようとして会議においてもまた戦場においても迅速に行動したということは国際連合の真の力を最もよく示したものでありましょう自由になろうという決意をもつすべての人間とすべての国との協力とよつてのみこの闘争において勝利を確保することができるのでありますアメリカ合衆国が重要な役割を演ずるよう要請されたのであります、アメリカ合衆国の外交政策は公益が万人の行為を支配することができるという法の理念を築き上るために合衆国と同じ気持をもつ諸国と連けいする決意であるといえるのであります、合衆国の目的は一言にしていうならば各国が平和と安全保障のもとに生存し繁栄することのできる国際共同社会である

幸にして言論の自由を有する世界各国の大部分は秩序ある手続を保障しすべての者の権利を保護するに十分強力なこのような自由の結合を切に望んでいる

私は日本国民が常に恐怖のない自由の民として生活することを望んでいると確信します、また日本は自由な世界の結合した力に対して自ら重要な貢献をする用意のあることを確信します、何故ならば世界が恐怖の支配の下にでなく、法の支配の下に生存することが万国の真の利益であると同じように日本にとつても有利であるからである

私は日本の指導者諸君が日本は自由な世界の決意と責任とに参加する用意があると繰返し語るのを聞いたことがある

過つてはいけません、法の支配が勝つでしょう

各時代を光明に近ずけるのはほとんど万人の意志に基礎をおくのであります、アメリカのある偉大な大統領が申しましたように

「恐怖それ自身の他に恐れるものは何もない」

私は諸君にこの種の勇気をもつようにお奨めする次第である

一九五〇　一二、二三
対日理事会議長
W・J・シーボルト
立教大学卒業生諸君へ

佐々木総長訓話要旨

ここに多くの卒業生諸君を送り出すことを喜びとするもので ある、今後も真理探究の途は奥深く末永いものであることを念頭にして、ひたすらけいけんにかつ慎重に進んでもらいたい 諸君が在学中に「神と国とのため」に尽したと同様に社会にあつても積極的であつてほしい

現像・焼付・引伸
カメラと感光材料
池袋西口交番前マーケット入口
川原写眞機店

学校法人原案完成
新に評議員会を設く

かねて私立学校法の議会通過によりその学校法人法案の改正が急がれていたが、その後学院では理事会で最後的討議の結果、立教学院学校法人の完成をみたので年内中にこれを文部省に送付、その認可をまつて明春四月から施行される

この学校法人法は従来の文部省等その筋の統括を離れて私学の特殊性を十分に発揮できるようにするもので、学校経営の民主化、または学校の公共性を推持し得るよう理事会の組織に眼目がおかれた点が改正の主な点である、この学校法人の定めるところにこるとこれまで

によつて組織された理事会で議決されていたが、新に評議員会を設けた点でこの評議員会は理公会信徒から四名、理公会ビショップ!!名、立教学院に所属する学校長、あるいは主事、大学各学部長、学院に勤務する教職員から七名、評議員会が適当と認める者数名で組織される

理事会については職責上の理事として新に規定された立教学院長、理公会ビショップ、中学校から大学までを含む学院校友連合会々長の他、前記評議員中から選挙されたもの五名、理事会が選任するもの四名の十三名で組織する

これに規定された立教学院長とは従来理事会で総長を選挙していたものを改正法によれば立教学院長を選挙してこれが総長を兼任することになつている、この院長は学院に属する学校を研究機関の統括者となることになつている

ダンス・パーティに五千人の人出
Xマス祝賀会行はる

恒例のXマス祝賀会は廿四、五両日にわたつて本学々生ホールで挙行された、本年は小学校、中学校高等学校などからもそれぞれ参加上演し、なかでも小学校生徒有志による英語劇「三匹の鬼」ブランスタツド教授の指揮になる管絃楽部の演奏は好評を博していた

両日とも午後六時から九時までは祝賀ダンス・パーテイに当てられ、恋人同伴で楽しい一ときを過し、なかにはホールの片すみにたたずんでパートナーを探す姿もみられるなど悲喜交々の会場風景だつた、一部学生の中には派手な婦人の服装に批判的な声も聞かれた

本年度Xマス委員会実行委員長安斉君は今年のXマスの感想を次のように語つた

例年に比して予算が少なく苦心したが、予算の多寡は二のつぎとしてXマスの本質を逸脱した学生のみられなかつたことは学生諸君のよりよい協力の表れとして喜こんでいる

論説

改めるべき立教シップ

二十世紀前半最後の年も後数日にして終りを告げるが、この一年だけをふり顧つてみてもよく例其にいうごとく当に多事多難であつた、新年を祝う意義が年と共に自身の決意を新にすることにあるように、年末にあたつて自らを省りみて、人生の一つの締め括りとすることは意義あることだ

まず第一にこの一年間で、最も我々を驚ろかせたのは、いわゆる五・三〇事件で三名の検束者を出したことである。皇居前広場に開かれた「人民蹶起大会」に参加したこれらの学生たちは占領政策違反のかどで検挙されたのであつた。立教という一般的通念をもつていた人々は「立教にもこういう学生がいたのか」と驚いたという この世人の驚きは立教生への一面的判断の結果であろう。これらの人々の価値判断によれば、よく銀座街頭にみかける学生を基準にしているものと考えられる。しかしそれは大変迷惑な判断である。

併しながら、こういう大会に参加した学生について、もとより肯定するものではない、学生が外部団体と呼応してこの種大会に参加するということは、また新たに問題の提起されるところである。

この反面、余りに立教の学生は平和にすぎるという声も多々聞くところなのである、平和であることに異議をさしはさむものではないが、それが「打てど響かぬ鐘」であつては恐らないだろう、真理探究の途上にある者として、知識欲からも何事にも正しい意味で積極的関心を示すことこそ望ましいことなのである、これはきらいなのだといつて見向きもしない食わずきらいは、学生としての態度ではあるまい、だからといつて、それは水に浮く 木の葉のように吹けば飛ぶものであつてはならないのだ、あくまでもことに当つて主体性ある判断にまつべきだ

もう一つ本年のけん著な表れは就職戦線に関連して痛感させられる事実である。二十三日卒業式を終えた一学生は初めどの就職試験で官学と早慶両校と比較して本学々生の学問的水準を問題にされたという点についてである。

全学生の日頃の生活において留意すべき問題である。客観的にみても、本学々生がそれほど低い学問的水準にあるとは考えないが、就職試験にあたつて問題にされた事実の裏には何ものかのがひそんでいることを認めなければならない

学生の本分はいうまでもなく学問することにある、その中からわき出た社会性でなくてはならないだろう、しかし一般学生をみる時主客転倒の感なきを得ないのである 民主化の途上にあつて象牙の塔にとじこもることはもとより排されねばならないが、その中庸を得ることこそ希ましいのである、本学に主催されるほとんどの催しがより社会的に、より一般的なものへと流れる傾向にあることは単的に事実を物語るものであろう

学校当局も学生も真の建学の精神に徹して、学生らしい若さを身につけるよう努力することが一九五一年に残された大きな課題であろう

学生ホールに撞球台
卅分金十円なり

藤田義男氏（川俣ビリヤード・コンパニー日本撞球協会選手）の撞球台一台寄附の披露式が六日学食で行われた、席上岡也、古田、吉原氏ら日本撞球協会選手の実演があつた、藤田氏は学生に健全な娯楽を与え、頭脳的プレーとしての球突きの普及を目指し本学が他大学にさきがけて受けたものである

現在、撞球台は社会科四年肥沼韓次君が管理しているが時に新三の管理希望者は申出るよう学生課では望んでいる、撞球台の使用規約は次の通り

一、管理人の注意を厳守のこと
一、使用時間は毎日正午より四時まで（除休祭日）
一、使用料金は一人宛卅分につき十円
一、ラシヤ地を破いた場合一インチにつき金五百円の賠償
一、使用に当つては学生証を提示のこと
一、同一人物による長時間の使用は避けること
一、使用料金は一切現金払
一、使用人員は最大十人までとし各自出来る限り多人数を許る事

小学校でも英語劇

立教小学校のXマス祝会が大学々食で十二月廿一日同校三年生の英語劇「三疋の豚」（二幕）ほか種々のもよおしものが行なわれた

チヤペルに聖降誕の祈り

Xマスイヴの二十四日午後四時から聖降誕の祈りが本学チヤペルに挙行された、この日参集した学生は礼拝堂を埋め、後藤チヤプレンの司祭でクリストの降誕を祝う祈りが厳かに続けられた

KRITIK

○「一テーン」学生とは思えない鮮やかな手つきがキューを繰出し、突出し、赤玉と白玉がついついと転がる、といつてもこれは学生クッションの選手権大会でもビリヤーの午後の風景でもない、本学の学生ホールの一角にどつしりと据え付けられた玉突台上である、本学々生に限り使用し得、半時間十円だそうである、某氏の寄贈によるもので学生に玉突を通じて社交と親睦を会得せしめたい由であるが、喜んだのは町のビリヤードの常連学生、このころでは玉を突きに御登校とある、遠くからこれを眺める他の学生連、学生ホールが玉突場といわれるようにならないかと心配顔、彼等の声を識者のためにキヤツチすれば「幾ら自由だ、アメリカンスタイルだといつても、学園にまでアンナモノを持込むようぢやネ。どうせ寄付して具れるなら、まだ他に幾らでも必要なものがあるのに」とに角学内の玉突き設置には相当問題が有るようですナ。

○特需景気も就職志望者までには関係がなさそうで、新卒学生も就職決定は未だその半分である。この一般的失業困難をしり目にスター的大学運動選手は引張りだこ。勉強だけして来た学生を口惜しがらせている。そこで急に運動部入部希望者がグンと増えたそうな。この分で行くと来年には全学生が運動部に入るかも知れない。元来運動部はスポーツマンシップを以て身体の鍛錬を行うのであるからそうなつたら身体強健な明朗な学生が多くなるから楽しい。しかし運動部への入部がスポーツ愛好よりも就職のためという盤が増えるとは世智辛い。その内に「こんな学生に誰がした」という歌も出来るかも知れない。

○私学の長所は全校が家庭的な親しみで結ばれていることである。現在本学は学生自治機関がいわゆる三権分立で構成されているが、その分立によつて生ずる諸困難は同じ立教の下に集うものという意識によつて打破すべきである。しかるに一部には級委員会、文化会体育会の三者を対立すべきものと浅薄に考え「俺は○○会以外の奴の名前やツラなんか知らねえ」とタンカをキツている御人もいるというのは余り感心出来ないが、これは本当の話。自分の所属する部会は他の部、会との連繋において大きな一つの学校の栄誉を担つているということを知らない連中だろうが、自分の所属する部、会のみにとらわれた唯我独尊的な島国根性は捨てて、私学ならではの長所は生かしたいもの。

六万余円の成果
韓国救済運動終る

既報、十一月一日から行われた立教学院韓国罹災者救済運動の成果がさる十二月四日行われた中央委員会で報告された

全運動を通じて六四、六二一円九〇銭の義捐金が集められ衣料品、物品など九九七点、二八七冊の書籍などで、このうち立教学院関係では三五、九七九円四六銭、物品三六一点、九五冊の書籍が集計されている

本学院関係では小学校が好結果をあげており大学では女子学生を中心に集められた衣料品が大部分をしめており、この中には元理学部女子学生（特に名を秘す）が蒙古収容所に抑留中着用していたといわれる支那服なども見られた集められた義捐金品はさる十二月委員に送られ佐藤尚武委員長から感謝状が贈られた、この義捐金品は日本赤十字社を通じてただちに現地に向け発送された

会告

去る九日、某日刊紙に報ぜられた当立教大学新聞に対する用紙割当停止の記事は郵便事故による手違いのためで、某紙所報の如き事実はなく、学校当局では直に手続をし、既に第三・四半期以降の用紙割当を受けております。

本紙七十四号は第二十六回卒業式およびXマス祝会の記事収録のため発行日を三十日に変更致しました。

立教大学新聞学会

滞米各教授から
Xマスカード

Xマスを控えて佐々木長のもとに米国視学、出張中の各教授から多数のXマス・カードが寄せられている

タラハイスに開かれた全米一般教育会議に出席した細入藤太郎教授からの通信によると同じく留学中の竹田神父となつかしい日本料理をともにした後、折柄地方を襲つた旨風に背遇街のショーウインドーガラスの破片による危禍を危くまぬかれたという

ハーヴアード大学で英語学を専攻中の中川一郎教授は新設の寄宿舎に宿泊、忙がしい勉強をつづけているが、寄宿舎での学生との接触で色々新しい成果を得た旨通伝があつた

渡辺麗教授はウエイン大学で物理学を講義中であるが一年間の任期を更に一ケ年延長するかもしれないなど、全米各地に活躍する各教授の近況が伝えられている

増設工事完威

本年四月一ぱいに完成予定の新館四階の建築は資金許可その他の事情で遅延を重ねていたが、このほど池田建設の手でようやく完成、二十七日落成式が工事担当者の手で行われた

冬山の鬼門

鹿島槍にいどむ山岳部
注目の雪洞研究成るか

昭和十一年ガールワル・ヒマラヤのナンダ・ゴット遠征を決行、傳統の極地法登山を誇る本学山岳部では鹿島槍冷尾根にいどむことになり、去る十八日羽鳥主将以下廿一名が壮図にのぼつた

今年度の冬山征服の山岳界は戦後最も活況を呈し、すでに半ば終了した中大、明大を始め早、慶の各大学山岳部は奥穂高岳に、また他コースを行く法大、青学、日大など北アに極地法登山の技を競う学生アルピニヤは約百名頭の多きに達しているが、本学山岳部も冬山の鬼門とされている鹿島槍冷尾根にいどむため、今年の四月からラツシユ・アタツクによる新極地法登山とこれに関係のある雪洞研究を計画、練習を続けていたが、往年ヒマラヤの征服をうたわれたOB会に激励されて出発したものである

一行は大糸南線大町から入り二股にベース・キヤンプを設営、A、B、Cの三隊編成で登山開始、各パーテイーは前進、従来の方法から脱してベース・キヤンプをとりはらい、先輩のかつてナンダ・ゴツトを日本山岳史上に残したラツシユ・アタツク法で全員氷雪の爺子岳に集中、この期間中に悪気流をついて雪洞の研究を行う予定で各パーテイごとに鹿島槍を完全に征服することになつている

ウインタースポーツ展望

早大に一日の長
明、立、慶は紙一重

五大学アイスホッケー後記

復活第一回東京五大学アイス・ホツケーリーグ戦はさる八日早慶、明立戦で終了したが、以下各大学の戦績を振りかえつてみる

脚力と独得のダツシユを誇るFW陣と本学保本に迫るGK川辺の躍進などで他校より一日の長のある早大の優勝は当然

明大は早大のごとくスター的プレーヤーは見当らないが粒ぞろいがものをいつて早大には惜しくも延長の末敗れたが、他校には順調に勝ち二位に進出した、三位の立教は後半仲田をFCにもつていつたことが成功し、自己のペースにのつて戦い、最終戦明大との一戦も度々チヤンスをつかみながら決定的シュートなく、疲労敗けしたのは惜しい、明大とは紙一重の差

案外振わなかつた慶大は第一FWに素質ある選手がいるが第二FW DF陣が上位三校にくらべて劣りこの辺から弱点を暴露し、他校のつけ入るすきになつた

テールエンド東大はすべての点で以上四校とは格段の差があつたが東大らしい真面目な戦い振りは好感が持て、中でもGK安西は光つていた

戦後初のリーグ戦なので必ずしも好試合の連続とはいえないが早明、慶明、慶立、明立の試合は印象に残る

本学は一勝一敗
関東実業団大学バスケツト

本年度のたく尾を飾る第二回関東実業団大学対抗バスケツト戦は去る廿三、四の両日明大コートで実業団の雄日本鋼管、日本鉱業、東京海上、中央生命、これに対し大学リーグの一位慶大、二位立大、三位教大、四位早大のチームが参加、日本鋼管を除く実業団チームは大学チームにことごとく破れ、ようやく学生チームも戦前の域に達して来たが、八十一連勝を誇る日本鋼管は慶大に対して59—51、立大に対し63—56と制勝した

本学の対戦成績は次の通り

立大　75　24—11　51—40　61　日鉱
鋼管　63—56　立大

【バスケツト部】

惜しくも二位に止る
戦前に今一歩

関東大学バスケツトボールリーグ戦はさる十一月四日から今月十一日まで行われたが、往年バスケツト王国を誇る本学は最近特に強力となり、リーグ一位の慶大とは紙一重の差で惜しくも二位に止つた

順位はつぎの通り

①慶大②立大③教大④早大⑤日大⑥東大

対同大定期戦に大勝
サツカー

第三回立教、同志社サツカー定期戦は去る十四日東京大学グラウンドで挙行されたが関東大学リーグに四位の本学も上位校と実力の差は紙一重なので、関西リーグ二部優勝の同志社とはいえ問題にならず、前半、後半とも本学の一方的試合となり結局10—1で大勝した

これで本学の定期戦々績は三勝となつた

波紋

▽Xマス・ツリーがどこにでも見られるようになつた。キリスト教に一般の関心が払われるようになりまたクリスチヤンも相当に増加しつつあることは喜ばしき事実である、しかし町で見られるお祭騒ぎをもつてキリスト教のバロメーターとするのは早計である。店頭を飾る大サンタクロースもデコレーションケーキも単なる売らんかなのための景気づけであることは誰でも知つている、まさにXマスは戦後日本に増えた新風俗の一つである、果してツリーの毎年増加系数ほど真の意味の信仰人が増加しているだろうか、だが宗教行事を商業手段とすることについて今更ら云々しても始まらない、しかしクリスチヤンには町の空騒ぎとは別な敬けんな祈りのXマスがあるはずである、彼等にはキヤバレーのアロハ趣味とは全然違つた清く美しいデコレーションが飾られているはずである

▽本学でも恒例のXマス行事を行つた、そしてその準備にたずさわつた委員の労苦を多とする。しかしここで考えねばならないのはわれわれの行つたXマスが多少ともアプレXマスの色彩を持たなかつたということである。勿論学校主要行事は誰でも盛大に華麗に行いたい、出来ることなら校舎全体をデコレーションで飾り立てても見たいだろう、このために今や執行委員はどこかの予算委員会のように多い資金の獲得にキユウキユウとし、あたかもその行事の出来具合は費用の多寡に係るという様な錯覚にとらわれているのではなかろうか、若しそうだとしたらとんでもない間違いである少くとも宗教的祝祭においては精神面を考えない外的装飾が豊富であればあるほど滑稽なのであるといえまい。

▽マタイ伝には人に見せるために己が前にラツパを鳴らしたり、偽善者のように大路や公共の場所では祈るな、と記されている。本学がキリスト的精神を体する限り、そのXマスも町のXマスセールやXマスパーテイーの直移入は深く慎まねばならない。また聖書には神は富者の万金よりも貧者の貧しき献物を喜び給うと記されている不相応の装飾に何の宗教的価値があろうか。われわれの現在の客観的状態を知らねばならない。こんなことが案外一部を除いた大半の学生を学校行事に背を向かせる原因となつているのではなかろうか大枚数百円を出せる者だけのパーテイーや晩さん会より貧しくとも校庭や開放した学生ホールでのファイヤーや紅茶一杯の讃美歌合唱の方がどんなに学生には受けるだろう。そしてどんなにより多くの学生がしみじみとしたXマスの喜びを感ずるだろう。しかもわれわれはそこここに転がつている〃マツチ売りの少女〃の悲劇を見逃してはいないか。校門を一歩外に出た所では飢え、震えて夜空を照らす大ツリーや楽しげなダンス音楽にセンボウしたたずんでいる人の姿が見えるようである。Xマスは貧しき人々に見せびらかせるものだろうか。キリスト教は貧しき者の宗教である。Xマスは貧しき者が喜びを分ち合う祝典である、われわれがより美しいXマスを行う上に多々改めるべき点を率直に認めてこそ始めて神の国と義とが求められるのである、そしてアプレXマスは面食つて逃出そうとするサンタのおぢさんを敬けんな祈りによつてなされる立教のXマスに迎へ入れたいものである

立教大学（新制）（男女共学）
東京都豊島区池袋

経済学部（経済学科 二〇〇　経営学科 一五〇）
文学部（基督教学科 二五　英米文学科 二〇〇　社会学科 一〇〇　英学科 五〇　心理教育学科 二五）
理学部（物理学科 四〇　化学科 四〇　数学科 二〇）
各科第一学年　願書受理 自一月二十日 至二月廿八日　筆答試験 三月六日（火）

経済学部
文学部　各科三年若干名
理学部　各科二、三年若干名
願書受理 三月一日至廿三日　筆答試験 三月廿七日（火）

▽入学案内要実費拾円、郵券貼付封筒

大学院（申請中）
英米文学研究科　三〇名　専攻—英文学、米文学
経済学研究科　九〇名　専攻—経済理論、経済学史、財政金融論、経済政策学、経営学

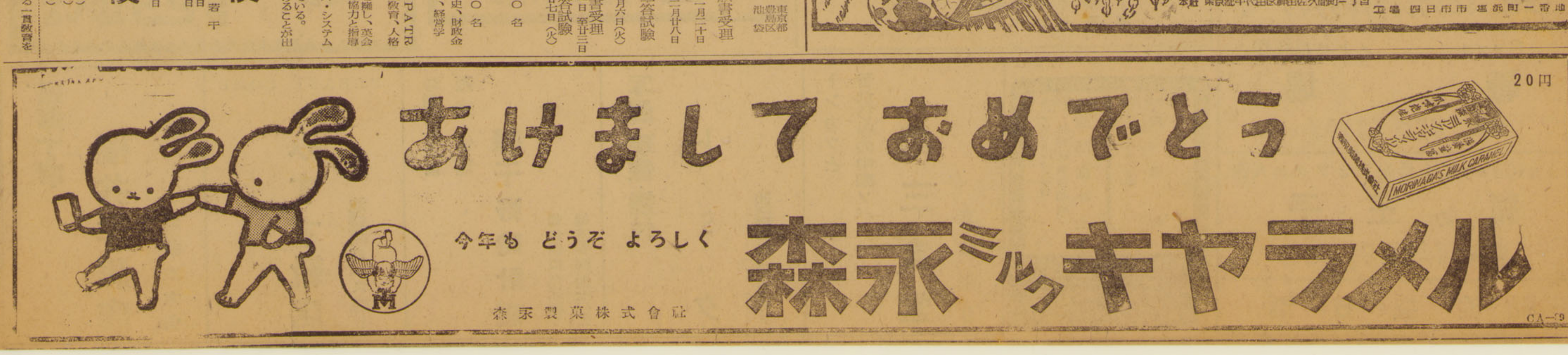
本学の特色と内容
1、「神と国のため」（PRODEO ET PATRIA）をモツトーとし高度の学問的教育、職業教育、人格教育の三者を一体とする教育を施す。
2、英語教育に重点をおき殊に多数の英米人教師を擁し、英会話は勿論、デモクラテイツクなカレツヂライフの協力と指導を行う。
3、美しい図書館において、オープン・シエルヴス・システム制により、自由に読書が出来る。
4、豊富な資料を持つアメリカ研究所が設けられている。
5、整つた診療所があり医療一般、歯科治療を受けることが出来る

立教高等学校
第一、二、三学年　補欠若干
願書受理 自三月十五日 至三月廿三日
試験 身体検査 考査 面接　三月廿六、廿七日

立教中学校
第一学年　約二百名
願書受理 自二月十日（土） 至二月廿四日（土）
考査 三月一日（木）

尚立教学院には小学校を設け、小学校より大学に至る一貫教育を実施しています

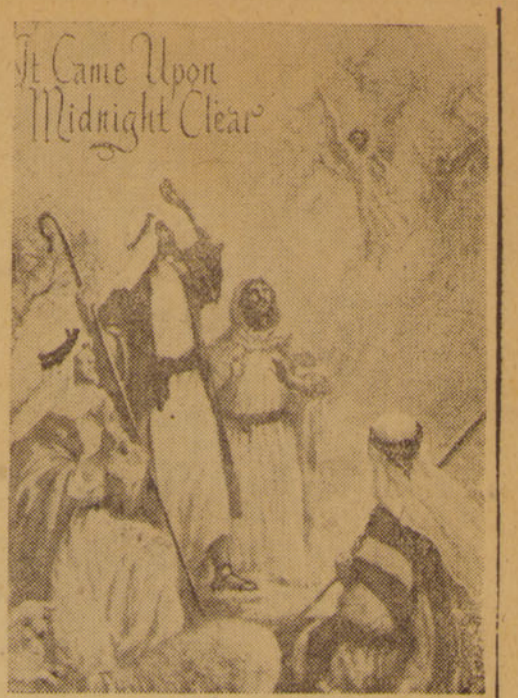
飛躍する
フジ印の硫安
東海硫安
本社 東京都千代田区神田佐久間町一丁目
営業所 名古屋市中区中ノ町三丁目六番地
工場 四日市市塩浜町一番地



20円
あけまして おめでとう
今年も どうぞ よろしく
森永ミルクキャラメル
MORINAGA'S MILK CARAMEL
森永製菓株式会社
CA—9

Xマスと平和

松田智雄


It Came Upon Midnight Clear

カツトはシカゴ大学留学中の岩井教授のXマスカドーから

キリスト教は、本来「内面性」の宗教である、この内面性はすでに旧約聖書の中で、示されているところである、紀元前六世紀始めのこと、ユダヤの国は隣国バビロニアによつて征服された、敗戦ユダヤを襲つた運命は言葉を絶するものであつた、首都イエルサレムは二年間包囲され、疫病と飢餓のために力尽きて、ついに陥落した、その後に来るものは、先ず国王ゼデキアが両眼をつぶされた上でバビロニアの首都バビロンにひき去られ、彼の王子は両眼を失う直前にその眼の前で殺され、高貴な官吏、貴族、富んだ市民、その他ユダヤの教養のある人々は全くバビロニアに捕えられていつた。いわゆるバビロニア捕囚である。そこでユダヤ人は運河の改修工事に使役され農業労働を強制され、その上に公租公課を重課されたのであつた、彼らが誇り、また拠り頼んでいたイエルサレムの神殿は破壊され、また異邦バビロニアでこれに代るものを得ることなど望むべくもなかつたのである、ところがこの敗戦と滅亡のとき、ユダヤ人には、未だかつて知らなかつた新らしい宗教性が与えられたのであつた。

その一つは、一さいの頼るべきもの、地位と権力と富と、はてには神殿さえも失つたユダヤ人には、もはや、ただ一つのこと、直接に神に頼る他には何一つたのみとするものがなくなつてしまつたことである、他の一つは、ユダヤの上層社会層は最高の教養に恵まれていたのであるが、しかも、いまは、最も低い勤労者として強制労働に服さなければならなかつた、彼らには、他に何ものも残されていないが、ただ一つ、神に頼る信仰——それもこの教養高い社会層には、神を知るの知識だけが、拠りどころだつたのである、このような拠りどころとは、外見に現れるものではなく、内面のものに他ならない。この宗教性を彼らは敗戦の苦難を通じて学びとつたのである、この体験を通じて彼らに与えられた啓示は、貴重なものであつた、イザヤ書五十二、三章の「ヤツヴエの僕」こそは、最も内面的な宗教性を示すものであり、そのひとりの信仰者の愛は、内面において神を信ずるもの、その内面的信仰ー内面の価値の故に神から価値を認められ愛されたものの意味を教えている、これらの点こそは近代キリスト教の強調する点なのである

さて、キリスト教は「愛」の宗教であるという、その愛は「隣人愛」——それは「敵への愛」と同じことである——であるが、これが何であるかは、あのルカ伝十章に述べられた不朽の美しい物語が語つている、強盗に遭つて持物を奪われ、半死半生の状態で広野にうち棄てられていた旅人を救つたのは、実にその旅人の敵というべき卑しい異邦人のサマリア人なのであつた「隣人愛」とは、血筋や利害関係などの紐帯がなければ無いほど、却つてその人を愛せねばならぬという、特別な愛である、いい換えれば、人をその内面の価値によつてのみ愛することであり、その人の苦しみや悩みを、内面において見て愛することである、このようにキリスト教は、内面において信じ、内面のものについて洞察することを求める

しかも、この内面性は、他方において、外方に現れると厳しい組織的形式の確立を求める、与えられた目的に到達するための最善の途（手段）を追究するひたすらな献身と努力とを生み出すのである それが、あの厳しい宗教的生活形式なのであつた、その原理から、目的合理性——目的にいたる最も合理的な態度の決断が要求されるのである

この二つの要求は、いずれも厳しい要求であつて、その厳しさが、信仰者をして神を、神の子イエス・キリストを仰がしめる、クリスマスとは、その神の子イエス・キリストー我々の、また世界の罪を担つて神の許に今在して給うキリストの誕生と生涯を讃いかつ感謝するときである、聖書はかつてのその夜を美しく描いたその夜空に天使の讃美の声がひびいたという——「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和主の悦び給う人にあれ」まことに「神には栄光、地には平和」何よりも今年のクリスマスに当つては平和を願い求めること切なるものがある（筆者・本学教授）

書評

杉本栄一著

「近代経済学の解明」（中巻）

宮川実

杉本氏の「近代経済学の解明」の中巻「現代的主潮流と新展開」が出版された。杉本氏は、近代経済学に精通するとともに、マルクス主義経済学をもよく研究しておられる、日本では稀な近代経済学畑の学者なので、わたくしは大きい期待をもつてこの書物を通読した。

杉本氏は、第一章「近代経済学の現代的遺産」において、まず、オーストリア学派、ローザンヌ学派、ケムブリツヂ学派がそれぞれ現代の経済学になにを寄与したかを略述し、現代の経済学がいかなる課題の解決に当面して生まれたかを明かにしようとしている。第二章においては、一般的危機の時代におけるブルジヨア経済学ー修正資本主義の経済理論ーであるケインズ学派の理論を略述し、その最近の発展形態である近代的巨視的動態論にまでおよんでいる。第三章においては、ケインズ学派に対立するものとしてのマルクス経済学の特色を述べ、マルクスの価値理論を概説している。そして最後の第四章においては、近代経済学の精密な理論的数量的研究と経験的な数量的研究との綜合をめざす計量経済学の現状を概観している。

杉本氏は、マルクスの理論をも近代経済学の一潮流として取扱つているが、マルクスの理論は、ケインズ学派や計量経済学の理論のようにブルジヨア経済学の一発展形態ではない。近代経済学全体に対立するものである。そのため杉本氏の叙述の発展のなかで、第三章だけが、異質的なものになつている。本書の読者は、第三章を後まわしにして、第一、第二、第四章の順序で読まれた方がよいであろう。そうすれば、あの難解な近代経済学のきわめてやさしい、きわめてすぐれた解明をえられるだろう。

第三章「マルクス経済学の基本性格」は、近代経済学の側からみたマルクス経済学として読まるべきである。そしてそれをマルクスの原典なり、マルクス経済学の立場に立つ学者の著書と比較して、研究されたがよいであろう。（本学教授）

最大ニュースは五・三〇事件

本誌記者座談会　堅実な学園生活

一年を回顧するのに「多事多難の年」という詞があるが、今年も例年外なくこのことはいえよう五・三〇事件で三名の検束者を出し、学生の気持は動揺した、その後レッドパージ反対の学生運動の嵐は学外に吹き荒んだが立教は静穏だつたが果してこの一年立教の学生たちは何をし何をしようとしてきたか一九五〇年を送るに際して本紙では編集記者の匿名座談会を開いてこの一年の主な事件を回顧しながら記者たちの眼に映じた立教の横顔を描き出してみよう

司会　この一年の主な事件をとりあげながらその担当記者を中心に事件の裏話を加えて話を進めていこう、まず五、三〇事件（五月三〇日宮城前の人民大会の乱闘で本学々生から三名の検束者を出した）が第一にとり上げられると思うが

A　とに角あの時は一応あわてたね、警視庁へ日参してその後の情報を得ようとしたが、門前ばらいで結局何も得られなかつたんだ

E　事件ニュースをとり扱う練習になつたね、日比谷公園の公衆電話から刻々編集室へ連絡したりした

D　あの時は神経過敏になつていた

A　学校側でも相当驚いていた立教初まつて以来のことだろうからな

司会　判決後は何うなつているのか

A　岩井チヤプレンが教戒師として拘置所へ通つていたそうだ

B　レ・パージ反対の問題についても本学ではいたつて静かだつたんだから

司会　野球部の二位進出について——実力はどうだつたんだろう

A　二位は一寸無理じやなかつたかな、早大がとびぬけて強くあとはどんぐりの背較べだつた、しかし本学としては例年にみられぬ気はくがあつたね

E　まわりが弱かつたといえるが伝統の粘り強さをもり返したことは忘れられないよ

D　どうかな、早大に負けたら簡単に法政にもくわれちやつたからな

A　そりやまだ完全なものじやない、しかしE君のいうことは本当だと思う、その点、砂押さんを監督に迎えたのは成功だつた

司会　韓国罹災者救済運動について

E　七三号で報道した通りだが社会事業班の学生達の着眼はよかつたね、それも運動の中心でありながら表面に出ないで売名的な点が少しもなかつたのは立派だつた名実ともにソシアル・ツーカーだつたね、こんなところに立教の社会科の特異性というか、よさが表れている

D　社会科の宣伝になつたな（笑声）名目は学生自体の運動でありながら当局が先頭に立つてしまつたということはいえるな

A　結果的に成功じやなかつたんじやないか

E　金額の上では六万円とちよつとだ

司会　次にアイソトープの研究について

C　理研の研究所員でその方面を研究していた主な人たちが、みな本学教授に迎えられているので理研に来るべきアイソトープが立教へ来たわけなんだが、現在では戸山ケ原の研究所で村地・仲村・辻井・奥野・荻谷教授等がホツソロス（放射性）実験装置を置いて研究している

司会　理学部は発足してまだ二年だが、教授陣といい教授法といい何にか特異なものが感じられるんだが

C　科学の渡辺慧、数学の吉田洋一、物理の村地、化学の中川重雄とすごい陣容だ、吉田教授については、始め慶応から来てくれないかとの声があつたんだそうだ、ところが吉田教授自身は研究室と住宅がほしい、たまたま立教ではそういう点で余裕があつた、それで立教に決まつたというんだ（笑声）

D　そういう教授陣に比べて学生の数が少い、このため完全な師弟関係が生れて勉強に熱が入つてくるわけだろう、ある学生に聞いたんだが人数が少いのでごまかせないといつていた

司会　六月の理事会で四年の任期が終つて佐々木総長が再選されたわけだがこの問題について

D　理事会では満場一致で可決された、実にフエアープレーで行われて気持がよかつたね、総長の人格のいたすところだろう

A　総長として迎えるのに全然異議なしだな、あの人は人格者だよ

司会　学生は総長をどう考えているだろうか

A　体育会関係では総長様々だ絶対的な人望がある

D　ある学生の言葉だが総長はクリスチヤンとして、人格者として実に立派だし尊敬するが、客観状勢を反りみると物足りない弱さがあるといつていた

C　大体において関心がない、四年毎に改選することすら知らないようだつた、立教的な意味でいいのかな

司会　この春の休暇中、中学の木造校舎を焼失した事件があつたが、その後諸説ふくふんでどうも迷宮入りするらしいが

C　あそこには電燈線もなかつた、その前に学生の退校問題にからんで放火説も伝えられた

D　立教にもそんなフアイトマンがいるのか（笑声）

A　入学試験に落ちた者の仕業だという説もあつた

C　結局十月末現在では迷宮入りだ

E　むしろ火事で新築校舎の計画が早められたろう

C　あれは火災保険をかけたばかりだという話もあつたぜ（笑声）

激しさのない立教生

司会　ではこの辺で立教生の学生々活全般について話題を変えよう、立教の性格がら学内クリスチヤンの動きはどうだろうか

D　BSAあたりでは先日も平和問題懇談会を開いたし勉強しようという気運は活発だ、学内の大きい推進力になるんじやないか

A　クリスチヤンはどうも高慢に思える、自分だけが選ばれたものと考えているという声がある

D　それはまで本当に神に仕えていない修養が足りないんだ、それからクリスチヤンは大体経済的に豊かな者が多い、だからその生活環境がにじみ出てるんだろう

司会　今年から非常に女子学生が増えたんだが、これについて何か

A　少し派手すぎないかね

D　たしかだ、しかし案外にアプレ的な者が少い

C　やはり男の学校にくるからには勉強する熱意があるんだといつていた

E　韓国民救済運動の時の女子学生の働きは大きかつた、一体に男の学生にくらべてまじめなんだな

司会　学園のロマンスというのはないかね

C　あまり聞かないね、あつても監視の目が多いから発展はしない（笑声）

司会　学内の自治組織について

I　物足りないのは学生一般がこの問題について無関心なことだ

B　立教生の物の考え方は強烈なものがない、学生会の組織そのものよりこういう学生の考え方に問題がある、気はくがないんだ

司会　出席制の問題、教授の休講などについて

E　都下の大学でも語学を除いて出席をとつているところは少い

D　アメリカ系はうるさいそうだ、それにアメリカでは全部の学生が勉強する、来春一般教育会議に出席している細入教授が帰国するとこの問題がまた変わるんじやないか、教授の休講の問題、社会科はひどい、ある教授の話だと私が出ても学生がいないから休講にするんだといつていたが、責任は教授にあるか学生にあるか問題だ（完）

時流

エジンバラの文学者大会から帰つた北村喜八氏の報告演説会が本学に開かれたがそれに出席した一学生から こんな話を聞いた。

立教での講演会は何時もまるで林の中のようにしずまりかへつていて質問を求められても応ずるもの一人もいない。これではどんな人が来ても身の入つた話を聞くことは出来ない、というのだ

確にこれは立教的一断面の表れだろう。この学生は聴衆自体が講演会を盛り立てねばいけないと考えているのだ。誠にその通りである。

かういう意見を聞いたことがあるからみても、当日集まつた学生の殆どが、この告白学生と同じ意見であつたと思われるのだ。

集つた学生は皆「いい話」を聞きたいと欲していることに間違いあるまい。それなら皆が努力してさういう方向に全体をもつて行くことだ。

自分だけは腕ぐみしていて上手に汁を吸おうとするのは少くとも青年として感心出来る態度ではない。

これは単に講演会に表れた一現象としては済まされない性質のものだろう。（枯）

立教の縮図

教育の民主化の一端として施行された新学制は本学でも新制立教大学としてすでに二ケ年を経過したがこの新学制は各種各様であり殊に本学にあつては極めて特徴ある組織と内容をもつている本紙では年末に際し学生がどんな教育過程を経て学窓を巣立つてゆくか更にどんな過程を選ぶのが有利であるかについて在学生はもとより先輩父兄さらに本学をめざす全国高校生の参考に供したい

恵まれた環境

充実した文献、資料

——文学部——

文学部は歴史も古く板についたやり方で万事アメリカ式な新教育システムがひかれ特に外人教師の多数がアメリカ文化の研究者にとつて非常な便宜を与えているのも本学独自のものでその特異性をみせている、授業配置も午前中に重点をおき必修課目とし、そして午後からは自由選たくとなつていて各課目が豊富に配列されているそれにともなつて小人数の学生で勉学するので図書館だとか各研究室の完備がまた一層効果的で楽しい勉学生活ができる

そこでこの文学部の細部を見ると全部でこの学部は五つの学科で構成され、最初の二カ年間の一般教養を終了した諸君の希望に応じてそれぞれこの五学科が解散されていく教養学科も科長に英文学の細入藤太郎教授をいただいてフランス語の杉捷夫、等有名教授が采配を振い、幅の広いかつ深い教養を身につけるよう努力されている

専門学部の英米文学科では特に英文学の範囲のみではなく同時に米文学をも専攻できるようになつている、まず科長に英文・アメリカ文学史の杉木喬教授その他独語・演劇史の番匠谷英一・演習の根岸由太郎・等各有名教授が講義を分担、それと同時にアメリカ研究所等、この科に学ぶ学生にとつて研究のため便宜を与えられている

つぎに基督教学科は科長には菅円吉教授、神学概論を担当他ラテン語の神田盾夫等、これも他学科に負けず教授、講義と配置の完全を期している

心理教育科では特種な設備があり、特に防音装置のある音響心理の研究には最善を得ていて社荘一等教授が研究指導をしている

史学科は伝統あり教授陣も政治西洋史の藤原守胤・宮本馨太郎等権威ある学者をそろえている

社会学科は学生の専攻課目によつて各グループに分れ各担任教授を囲み研究にいそしんでる科長には労働科学の淡路円治郎、社会保護の森脇要等有名教授がいる

揃つている教授陣

経済学部はやはり前期二年専門課程二年となつていて教養学部即ち前期二カ年は文学部と同じく授業配置等なされそこにこの学部独特の課目が含まれている、いずれも英語の授業が多いのも特長をなしている

この教養学部はドイツ語の大畑末吉教授など語学を教え人文、社会自然の諸科学を修得できるよう広く学課配置されている

大別するとこの学部は経済と経営の二学科によつて構成されている前期二カ年修了した者はこのうち一学科を選択専攻するわけだ、この両者の関係はあまり大差なく共通な必修課目が多くある、ただ経営のほうが卒業してすぐ役立つといわれているが、これも何にも明瞭な事象を生ずるわけではない、共通課目が多いから同じ様なことを専攻している、そして両学科共ゼミナール制があり各学生は自由選択により各自のゼミナールに出席できる、また各料室等完備され研究資料にはことかかぬ

部長に河西太一郎教授、宮川実、森田優三、藤田武夫、中村哲、神野璋一郎、熊倉武等有名教授陣の完璧を期しその授業配置研究時間等万事万点だ

誇るべき研究設備

——理学部——

理学部も前期二ケ年一般教養に分れ同学部独特な授業配置によつて勉学することになつているのは他学部に変りはない、佐々木喜市教授が哲学をおしえ仲々はば広く講議が行なはれている、そしてこの学部は全部で三つの学科に分れ構成されている、いずれも語学に重点がおかれ教養科中に語学は相当シボラレる、またアイソトープ等研究設備の万全を期しその点本学随一で他校の追随をゆるさない、

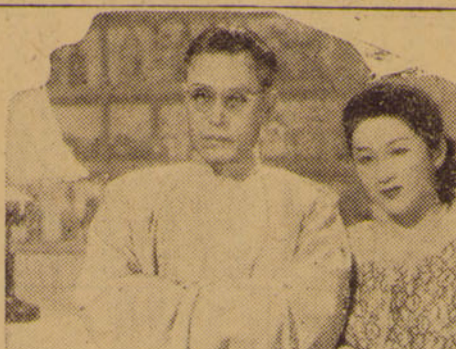
前記のアイソトープ等も特にアメリカから本学に寄贈せられたのであつて研究設備は誇るに足る物理学部も杉浦義勝博士を陣頭に村地孝一、渡辺慧、中川重治等各学界権威者が集まり、学生と共に研究に励げんでいる

化学科ではこれらも実験材料の豊富さと学生も少なく、条件が揃つている、実験研究が各教授の研究室中心に行なわれている、荻谷伊佐久、奥野久輝石島渉等各教授が顔を見せてるい

数学科は静かな研究室が思索にはもつてこいで黒須康之介、吉田洋一、三村征雄、小平邦彦等各教授中心となり各自の研究課題において専攻される

反戦映画と文藝作品

日本映画この一年



この一年の日本映画は、ここ二三年のうちで最も質的に低下したその代り量は多かつた。東映と新東宝が新系統をつくつて五系統となつたので総数はおそらく二百本近くにのぼつているだろう。映画の良い悪いをセンサクしているゆとりがあろうはずがない。毎週の番線を埋めるのが関の山で、早撮りの粗悪映画がハンランしたのは当然である。東宝の「淑女と風船」「銀座の踊り子」「与太者と天使」新東宝の「東京のヒロイン」その他相当数の映画が一週間の上映が支えきれず、三日や四日で敗走しているくらいだから、映画企業はまさに自壊の途を好んで選んだようなものだ。

その中で目立つたことを拾うとまずこの年は反戦映画多がかつた「きけ、わだつみの声」「戦火を越えて」「暁の脱走」「また逢う日まで」「軍艦すでに煙なし」と五本があり、ひろい意味では「暴力の街」のこのジヤンルに入らないこともない。これは企画としては少し遅そすぎる。戦後二、三年のうちに出なければならないものだつた。じつくりと時を稼いで作つたものにしては、そんなに大物ではなかつた。もちろん、その中では「また逢う日まで」が最も優れており「暁の脱走」がこれにつづく。「きけ、わだづみの声」は製作の意義はみとめるが、脚本が観念的であり演出が荒ツぽいので映画としては、そう高く評価するわけにはいかない。

それからオリジナル物が不振で原作物が多かつたのもこの年の特徴だろう。新東宝の「細雪」「宗方姉妹」松竹の「帰郷」と、文芸大作物も多かつたが一体には新聞小説の映画化が目立つた。この風潮にからんで、松竹は往年の大船調に返り、「花の素顔」「春の潮」「女性三羽烏」以下女性向き映画を続出させた。これに追随して他社も女性フアンに迎合したメロドラマを相当製作して、この年度の密度をすこぶる水ツぽくしてしまつた。振わなかつたオリジナル物のうちに「また逢う日まで」「羅生門」「醜聞」「春雪」「偽れる盛装」（これは一月中旬封切だが）があつたのはせめてもの喜びで、二級品としては「夜の緋牡丹」「ジルバの鉄」「戦火の果て」などが挙げられる。

監督では、いわゆる巨匠連に水々しい現代映画がなく、かえつて中堅や新人の活躍が目立つた。阿部豊は「細雪」、小津安二郎は「宗方姉妹」溝口健二は「雪夫人絵図」清水宏は「母情」木下恵介は「婚約指輪」を撮つているが、いずれも時代的なズレがあつて賛成しがたい。これに対して鈴木英夫の「蜘もの街」（大映）春原政久の「七色の花」（東横）佐分利信の「執行猶予」（太泉）大庭秀雄の「長崎の鐘」「帰郷」（松竹）などの方が生彩に富んでいた。時代劇映画も暴力否定などの偽装のもとにこの年は寒心すべき作品を大量に出したが、そのうちに稲垣浩の「佐々木小次郎」だけが光つている。また大作としては早川雪州主演の「レ・ミゼラブル」があるが、脚本がよくない上に役者が著しく見劣りするのでついに問題作とはならなかつた。

俳優では佐分利信と木暮実千代に平均点が入る。佐分利は監督としてもよい仕事をしているので、この年の当り男というところであろう。脇役では断然山村聰が他を引き離している。「宗方姉妹」でも「帰郷」でも着実な演技を見せている。若手では京マチ子、淡島千景、久我美子が軌道に乗つてきた。これに比して男優の新人に目星しい活躍はなかつた鶴田浩二が作品数だけは多くてスタアらしくなつたが、まだ皮が剥けていない感じだ。それよりも岡田英次に期待するものの方が多い

結局、ベスト・テンをつくれば「また逢う日まで」「暁の脱走」「執行猶予」「暴力の街」「羅生門」「醜聞」「きけ、わだつみの声」「宗方姉妹」「帰郷」ということになりそうだ。（順位なし）

新しい年は日本映画も量を減じて、質の向上を目指して行かなければ、いよいよ自滅するばかりである。これは映画資本家にもわかつている。そこで新年早々、日本映画界の新体制を生む胎動がはじまるのは必至である。

【写真は「帰郷」の一場面、左木暮実千代、右佐分利信】

本質的な研究の方向

——経済学会回顧——

加藤誠一

終戦後五年たつた一九五〇年の経済学界の動向は どうであつたか。一口にいつて、一昨年までは深刻な社会問題を反映しておのずから緊迫した当面の諸問題の解明に力がそそがれており、ジツクリと落ちついた研究や労作は少なかつたようであるが、昨年に入つてからは、いよいよ本質論的な研究の段階にまで進み、古典ものへの研究など独自の深化をはかろうとする傾向がみえてきた。しかしそれだけにまた、学問的研究本来の目標を見失いがちな偏向もないではなかつた。

たとえば、価値論々争における「季刊理論派」とよばれる人たち、およびその一連の人々の見解がそれである。商品分析論についていえば、商品における使用価値と価値とをその内部的な同時的対立としてはとらえずに、ヘーゲルの弁証法と照応させた「使用価値ー価値ー交換価値」（商品のトリアーデ）の論理にたつて商品の二契機をば移行的対立として理解する態度である。もつとも武市健人氏は季刊「理論」（第十三号）のなかで、自分自身の見解をば単なる移動的対立の立場ではなく「論理的、本質的には同時的対立であるものも、現実的には移行の過程をとり、その上で一応対等的な、同時的対立となつてもよいのである」と苦しい弁明をしている。しかし、武市氏のごとく論理的対立と現実的対立とを区別するにせよ移行的対立の立場に立脚しているかぎり、商品の二つの契機の対立をば正確に把握しているとはいえない取るそれは向後の問題を隠蔽する見解であり、本来の研究目標を歪曲するものである。

昨年を通じて活発に行われたポレミークとしては、価値論争のほかに恐慌論争がある。これは昨年に入つてから川崎巳三郎氏がその著書「恐慌」（岩波新書）でまず口火を切つたものである。この著書の特色は、従来比較的に閑却視されていた固定資本の運動を大きく取扱つたことにあるが、これにたいして吉田義三氏は「景気変動論」を著して、極めて大胆に恐慌の諸現象を究明した。さらに井汲卓一氏は「潮流」一月号（戦後恐慌の理論的諸問題）と「経済評論」二月号（戦後恐慌の主要な問題点）に研究の成果を矢つぎばやに発表し、これをめぐつて各雑誌に多くの恐慌論が展開された。なお、本学山本教授の労作「恐慌論研究」（青木書店）は、これらポレミークの渦中に投ぜられた一石であるといえよう。

翻訳書では、近代経済学派の名著たるケインズ「雇傭・利子及び貨幣の一般理論」（普及版）マーシヤル「経済学入門」ハンセン「財政政策と景気変動」ハイマン「経済学説史」ハリス編「新しい経済学」などがでたが、長谷部文雄氏の訳業「資本論」全十一巻の全訳がなつたことは特筆すべきであろう。この邦訳は、昭和二十一年十月第一分冊が刊行されてから四年に近い年月を経て、昨年八月発行の第十一分冊をもつてついに完成されたものである。もつとも全訳書としては、従来、高畠素之氏の邦訳があつた。この邦訳は、わが国最初の全訳書として、かつまた長谷部訳完成以前における唯一の全訳書として、その果した役割は高く評価されなければならない。しかし高畠訳は廉価版（改造社）が出版されてから既に二十数年を経過しており、その間に訳語の正確さという点で多くの欠点が指摘されてきたばかりでなく一九三二ー四年にかけてインスティトウート版が刊行され、これが権威ある底本とされるにいたつたため、エンゲルス版を底本としていた高畠訳は全面的に改訳されねばならなくなつていた。長谷部訳は、原文に忠実な為め少し晦渋に困いところのあることはいなめないが、かかる高畠訳の欠陥を除きさらにまた他にさきがけて戦後いちはやくその難業をなしとげられたという意味において、長谷部氏の業績は特筆されるべきである。

とまれ、昨年をもつて二十世紀の前半は終つた。今年はさらに新らしい局面が展開されるであろう。学界においても抽象的な[illegible]うが細かく論議されることは必要であるが、来るべき新らしい世界情勢の分析こそ経済学徒に与えられた課題ではなかろうか。わたくしは、本年の学界の動向が、こういう問題をとりあげてはなばなしく展開されることを期待している。（本学講師）

X'マスプレゼントに
富士スライド映写機
バーディー
富士写真フイルム株式会社

歳末の御贈答品は
東横
渋谷・池袋
御贈答に御便利な 商品券

学用品・タバコ
芳文堂
立教通り

12月27日ヨリ　総天然色映画
西部の裁き
コロンビヤ映画
主演　ランドルフ、スコツト　マーゲリツト、チヤツプマン

1月3日ヨリ　メトロ超特作
戦場
主演　ヴアン、ジヨンスン　ジヨン、ホデイアク

1月10日ヨリ二十世紀フオツクス大作
狐の王子
主演　タイロン、パワー　オースン、ウエルズ

池袋東口　池袋日活

ステンレス・スチール
材料売買と各種製品製造
佐伯商店
営業所　東京都中央区銀座三ノ一
電話　京橋（56）2007・6973　8106・0567
工場　東京都江戸川区東小松川六の七八五
電話　江戸川　315

スキーとスケート
新発売　プラステツクスキーとジユラルミン杖
日本皮革会社製スキー靴
Mizuno
ミヅノ　銀座スキヤ橋畔

謹賀新年
池袋駅　西武百貨店

27日ヨリ　炎の町　ジヨンウエン主演
27日ヨリ　凸凹闘牛士　アボツト・コステロ　新春に送る初笑
（池袋駅西口）
池袋ロサ　池袋邦映

トンカツと
昔なじみの中華ソバ
第三食堂
立教通り

写真・現像・焼付
トミタ
池袋西口バス通り

各種時計豊富
販売・修理
株式会社　千野時計店
池袋西口バス通り
電大塚(86)四七〇五

PLEASE COME
みすず靴店
池袋西口バス通り

迅速・丁寧
櫻井洋服店
池袋立大角